

コンゴ(共)月例報告
2016年9月

【ポイント】

●23日から30日の間、プール県にて、フレデリック・ビンサム(通称:ントゥミ牧師)率いる元民兵組織「ニンジャ」の攻撃により合計23名(内、治安関係者12名)が死亡した。

●サス・ンゲソ大統領は、2日、キンシャサにてカビラ・コンゴ(民)大統領、チセケディU DPS党首等と個別に会談し、9日には、ブラザビルにてチセケディ党首による表敬訪問を受け選挙プロセスにつき協議した。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、「ICI BRAZZA」、仏通信(AFP)及び仏ラジオ国際放送局(RFI)による

1 内政

(1) プール県情勢

23日、フレデリック・ビンサム(通称:ントゥミ牧師)率いる元民兵組織「ニンジャ」が、マンガラ(ブラザビル西方160km)にて国軍の陣地を襲撃し国軍兵士4名が死亡した。また、28日、ニンジャが救急車を襲い国軍兵士2名が死亡した。さらに、30日、ニンジャが石油を輸送する貨物列車を襲い16名(内、憲兵隊4名、警察2名、市民(運転手含む)9名)が死亡し、貨物車両2両が全焼した。

(2) 国民対話に関する呼びかけ

10日、パリ訪問中のムアンバ首相は、野党に対して、タブーのない対話に参加するよう呼びかけた。

2 経済

19日及び20日、コンゴ(民)で発生した騒擾を受け、ブラザビル市内では、3日間にわたりガソリンが不足した。

2 外交

(1) 仏

6日、パリ訪問中のムアンバ首相は、サパン仏経済・財務大臣を訪問後、経済関係者と面会した。

(2) コンゴ(民)

2日、キンシャサにて、サス・ンゲソ大統領は、カビラ・コンゴ(民)大統領、チセケディU DPS党首と、バチカン大使(シディクMONUSCO特別代表同行)、ルベルワ元副大統領(RCD党首)、ルアカ副首相兼郵政・情報通信技術大臣、コジョ政治対話調停者と個別に会談し、大統領選挙プロセスにつき協議した。9日、ブラザビル市内大統領

府において、サス・ンゲソ大統領は、チセケディUDPS党首による表敬訪問を受けた。

(3) アフリカ域内

ア 14日、サス・ンゲソ大統領は、ヴァス・ギニアビサウ大統領による表敬訪問を受け、二国間関係につき協議した。

イ 15日、サス・ンゲソ大統領は、バティリ国連中部アフリカ特別代表による表敬訪問を受け、中部アフリカの安定につき協議した。

ウ 19日、国連総会において、ディンガ＝ジョンド社会事業・人道活動・連帯大臣は、周辺国からの難民が合計53717名(内、中央アフリカ人28700名、コンゴ(民)14800名、ルワンダ人10217名)滞在している旨発表した。

エ 26日、サス・ンゲソ大統領は、同大統領の出身地である北部オヨにて、ニヤシンベ・トーゴ大統領による表敬訪問を受け、海洋安全保障及び二国間協力関係につき協議した。

4 日本に関する報道

(1) 9日、ローマにて、梅本在イタリア日本大使とカズンWFP事務局長は、平成28年度対コンゴ(共)WFP連携食糧援助(1.2億円)の交換公文に署名した。

(2) 16日、ブラザビル市内にて、平成27年度補正予算事業「民主主義の強化と国家開発への貢献を目的とした、社会経済的な手段・活動を通じたコンゴ(共)における若者の過激化予防策(UNDP経由。100万米ドル)にかかる研修開始式典が実施され、ドゥカガ青年・市民教育大臣、マコソ初等・中等・識字大臣、オヘメング＝ボアマツ国連常駐調整官兼UNDP事務所長、アフォンソUNESCO事務所長、当館書記官等150名が出席した。